

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 26 年 6 月 13 日

大分県知事
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県中津市大字昭和新田1番地

氏 名 ダイハツ九州株式会社

取締役社長 水谷 誠

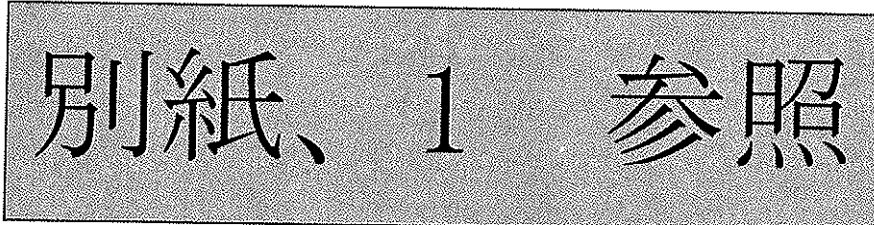
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0979-33-1240

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ダイハツ九州大分(中津)工場
事業場の所在地	大分県中津市大字昭和新田1番地
計画期間	平成 26年 4月 1日 ~ 平成 27年 3月 31日迄

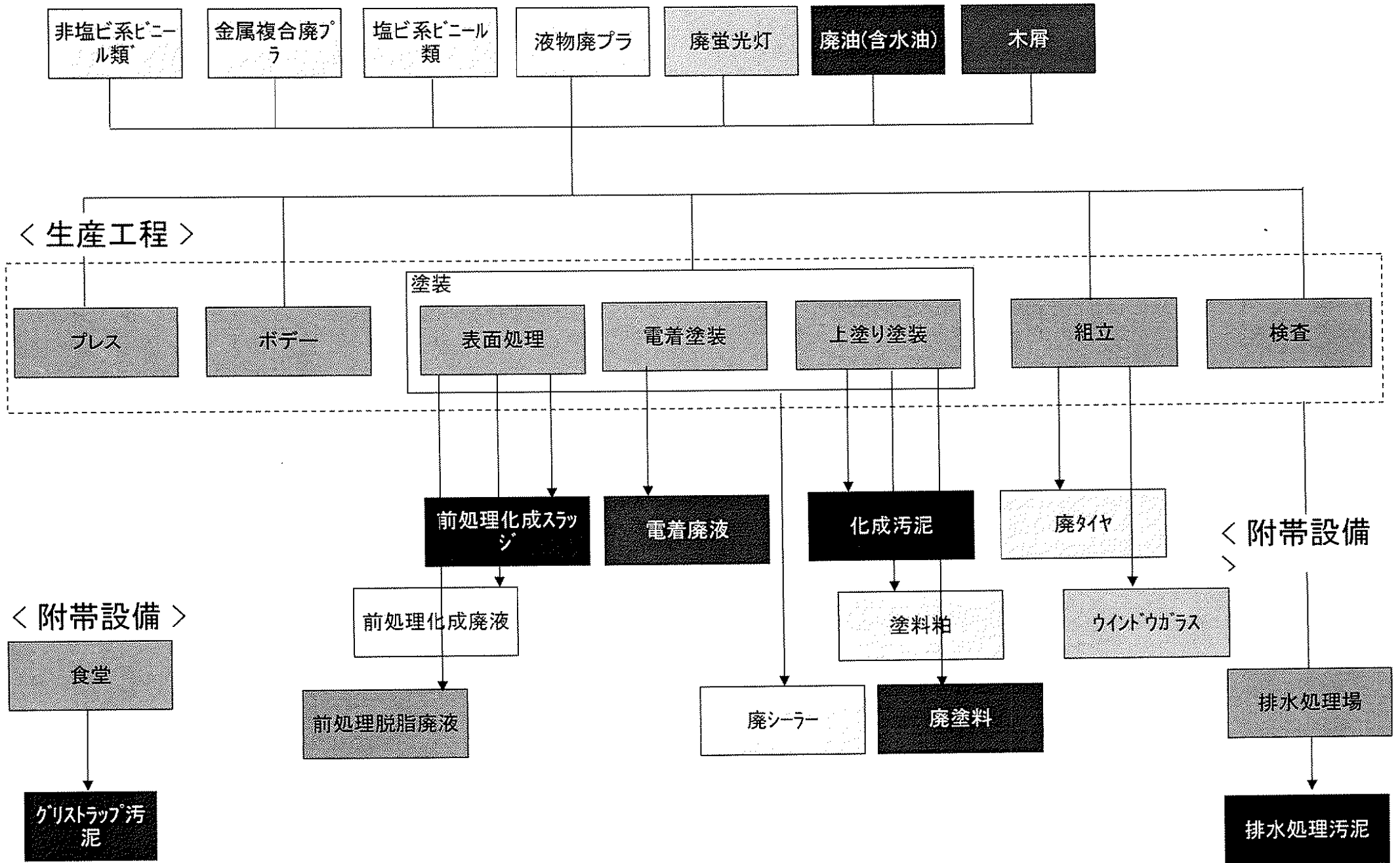
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E-31 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	6,000 百万円
③従業員数	3,415 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)



(別紙、1)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙、2 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度 (年度) 実績】

産業廃棄物の種類

t

別紙、3 参照

t

②計画

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

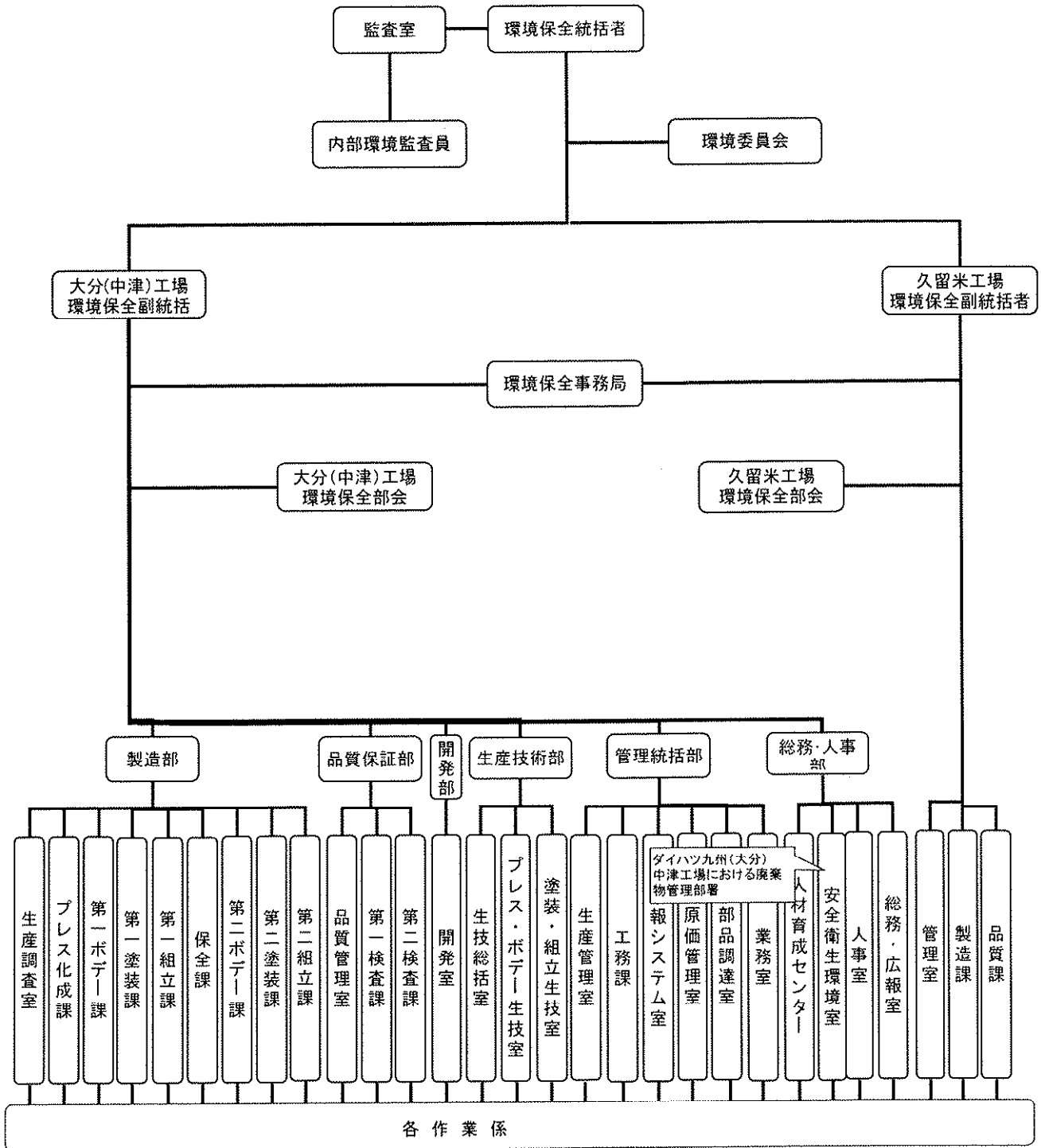
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
種類：別紙、1参照
取組：別紙、3 これまでに実施した取組 参照

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
種類：廃油
取組：油水分離による一部有償化

ダイハツ九州(株)の環境マネジメントシステム組織図


改訂2014.1.6



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（2013年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	排出量	2,608t	983t	18t	565t	219t	56t	5t
(これまでに実施した取組)								
汚泥		・ 前処理化成スラッジの減水化（乾燥化）						
廃プラ		・ 金属複合廃プラの分別徹底による発生量削減						
廃油		・ 塗装ロボット塗着効率改善による廃塗料発生抑制						
②計画	【目標】 廃棄物発生量 台当り原単位 1%削減							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	排出量	2,462t	928t	17t	533t	207t	53t	4t
前提条件 2013年度生産台数 43.1万台 2014年度（生産予測値） 41.1万台 削減目標 台当り1%削減								
(今後実施する予定の取組)								
廃プラ		・ 金属複合廃プラの分別徹底による発生量削減 ・ 部品組付不良による廃却ロス低減による廃プラ発生削減						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組) _____		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	ー t
(これまでに実施した取組) _____			
②計画	【目標】 ー		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	ー t
(今後実施する予定の取組) _____			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】—		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) _____		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
別紙、4 参照			t
			t
			t
			t
			t
			t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
			t
			t
			t
			t
			t
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（2013年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	全処理委託量	2,608t	983t	18t	565t	219t	56t	5t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	6t	401t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,608t	486t	t	164t	219t	56t	5t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	225t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	272t	12t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・マテリアルリサイクル処理業者、サーマルリサイクル処理業者への委託 ・委託業者現地確認実施 ・電子マニフェスト導入による処理状況相互確認の徹底 								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	全処理委託量	2,462t	928t	17t	533t	207t	53t	4t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	6t	379t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,462t	459t	t	154t	207t	53t	4t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	212t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	257t	11t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・マテリアルリサイクル処理業者、サーマルリサイクル処理業者への委託継続 ・委託業者現地確認の継続実施 								